

令和 8 年第 4 回美作市議会定例会を招集しましたところ、議員各位のご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

恒例に従いまして、美作市行政の状況を報告いたします。

はじめに、令和 7 年度決算に伴う財政状況ですが、基金は、将来の公債費負担に備えて減債基金への積み増しをした結果、普通会計ベースで約 2 億円の増額となりました。

運用面においても、安全性と流動性を確保しつつ、1 億 5 千万円を超える運用益をしっかりと確保できております。

次に地方債残高ですが、大規模建設事業の実施に伴い、前年度比で約 11 億円増の 274 億 4,400 万円となりました。地方債残高のうち、交付税で補てんされる部分を除いた実質的な「正味の地方債残高」は約 56 億円に留まっております。

なお、地方債の正味残高以外の負債を合わせても、現在の基金で十分に完済が可能であり、完済後も 48 億円程度の財源を確保できる、極めて健全な水準を維持しております。

これらの結果、財政健全化指標では実質公債費比率が 9.2%（前年度比△1.2 ポイント）へと改善し、将来負担比率は 7 年連続で「算定値な

し」を達成しております。現時点で将来の市財政を圧迫する懸念はございません。

今後も財政状況を厳しく注視しながら、着実な事業運営に努めて参りたいと考えております。

次に、7 月 17 日に津山市、真庭市、美作市の 3 市間で包括的政策連携協定を締結いたしました。3 市が相互に連携し、それぞれの地域の特性、資源、知見及び経験を生かしながら、地域の持続的な発展と住民福祉の向上を図ることにしております。

今後は医療、福祉、交通、産業を中心に様々な分野において連携し、必要に応じて調査、研究及び施策の検討を行い、実効性のある施策の立案及び推進を図り、3 市及び美作地域全体の競争力と住民の生活の質の向上を目指し、輝く未来の実現に寄与してまいりたいと考えております。

また、7 月 21 日に美作市と和気町で観光振興に関する連携協定を締結いたしました。これまで県北の自治体同士による連携はありましたが、南部方面との連携はこれが初めてとなります。

岡山県東部に位置し、隣接する両市町が互いに協力し合うことで、さらなる観光誘客の強化を図るものであります。

今後は、観光振興に係る情報の共有や効果的な情報発信を行うほか、両市で開催されるイベントへの相互協力などに取り組み、地域を越えた一層の連携を深めてまいります。

次に、災害時に対応するための基本となる「美作市地域防災計画」の改定に向けて、8月25日に第1回「防災会議」を開催し、委員の皆様から貴重なご意見、ご提案を頂戴いたしました。

今後も引き続き、皆様からのご意見を賜りながら、防災行政の基本となる「美作市地域防災計画」の改訂を進めてまいります。

さらに、災害発生時の迅速な対応力強化や地域課題の解決、市民サービスの向上を図るため、民間企業や関係団体等との連携協定の締結を積極的に推進しており、7月13日に佐川急便株式会社と包括連携協定、8月3日に日本郵便株式会社と気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定、9月1日に岡山県石油商業組合勝英支部と災害時における燃料供給等に関する協定を締結いたしました。

次に、6 月定例会の閉会あいさつで触れさせていただいた、「湯郷鷺温泉館」を運営する株式会社湯郷鷺温泉への資本参加につきまして、株主の高齢化や世代交代により株式の継続保有が課題となっており、本市に対して株式取得の要望が寄せられていました。

同社は、湯郷温泉街への温泉供給を担うとともに、地域観光や住民福祉、災害時の避難先への温泉供給など、公共性の高い役割を担っております。

過去 3 年間は黒字経営と安定した温泉供給を維持し、地域経済や観光振興への重要性も高いことから、株式が市政への理解や観光振興の重要性を理解しない投資家の手に渡ることは不得策であるので、将来にわたり地域資源を守る体制を整えるため、市として株式を取得することとし、本定例会に所要の予算を上程しております。

なお、今回の株式取得は施設を買収するものではなく、地域資源の維持と観光振興を目的とした資本参加であります。

次に、南部産業団地整備事業であります。美作岡山道路の英田インターチェンジ(仮称)周辺において、候補地 2 区画を選定し、地権者の方へ基礎調査のための立入許可をいただき、地形などの詳細な把握を進めております。

また、この 2 区画の候補地内には、3 か所の埋蔵文化財の存在が想定され、現在、文化財調査を実施しております。

これらの調査が終了しましたら、開発範囲を確定させた造成計画を立て、地権者との合意後は速やかに用地取得へ着手してまいります。

次に、道路整備に関する要望活動の状況であります。8 月 6 日、鳥取河川国道事務所に出向き、国道 53 号黒尾峠の高規格バイパス化、すなわち美作岡山道路の北部延伸について要望書を提出し、道路整備の重要性を訴えてまいりました。

また、同月 19 日には中国地方整備局の道路部長へ、28 日には財務省の関係者をはじめ、国土交通大臣政務官、国土交通省の技監ならびに道路局、さらには地元選出の国会議員の先生方に対し、それぞれ要望活動を行いました。

特に加藤 勝信衆議院議員、石破 茂衆議院議員に対しましては、直接要望書を手交し、美作岡山道路・北部延伸の事業化に加え、国道 429 号の道路整備および志引峠のトンネル化について、関係市町とともに重ねて要望してまいりました。

道路整備の早期実現に向け、今後も引き続き、関係機関への粘り強い働きかけを行ってまいります。

次に、7 月 23 日に、姉妹都市縁組締結から 1 年を迎えたハワイ州カウアイ郡長とのオンライン交流を実施しました。カウアイ郡長は今期の任期満了に伴い、本年実施されるハワイ州副知事へ立候補されますが、剣道や、今後オリンピックの正式種目にとの動きもある海外で人気のピックルボールの普及活動などにより、交流を発展させていくことを確認いたしました。

次に、8 月 17 日に開催いたしました第 58 回宮本武蔵顕彰高等学校剣道大会には、熊本県から 6 校 12 チームの参加をはじめ、2 府 14 県から 160 チーム、883 名の剣士の参加をいただき、熱戦が繰り広げられました。

また、本市と深いつながりを持つ熊本県を支援するため、試合会場で義援金を募りましたところ、温かいご厚意が寄せられ、多くの方からのご寄付をいただきました。

令和 8 年熊本地震における被災地支援につきましては、消防庁長官からの要請に基づき発災直後に緊急消防援助隊 3 陣 12 名を派遣しました。また、公益社団法人日本水道協会からの要請に基づき 8 月 3 日から 7 日までの 5 日間、職員 2 名と給水車を派遣し、宇土市と八代市の老人福祉施設で給水活動を行いました。

また、応急対策派遣制度に基づき、チーム岡山の一員として八代市へ避難所運営支援のため職員を派遣し、今後も派遣する予定としております。

熊本県内の被災地の一日も早い復興を願い、支援活動を実施してまいります。

次に、全国学力・学習状況調査の結果につきまして、中学校では国語、数学ともに全国平均を大きく上回る結果となり、また県内においても結果が公表された市町村ではトップに位置しております。

小学校では、国語、算数ともに全国平均を下回る結果となりました。今回の結果を分析し、成果と課題を基に、引き続き学力向上に向け取り組んでまいります。

最後に、部活動地域展開につきましては、夏季休業中に水泳、ブレイクダンス、芸術、パソコンの「地域クラブ活動体験会」を計画しました。

また、地域クラブ活動の実施にあたり、年内には認定地域クラブ登録に向けた制度設計や、地域クラブ活動に教職員が参画できるよう、教職員の兼職兼業が行えるように準備を進めております。

以上、諸行政の一端をご報告申し上げまして、本議会における審議の一助にさせていただくとともに、市民の皆さまの美作市政に対するご理解とご支援にいただければと考え、行政報告とさせていただきます。

なお、本会議における諸議案の提案説明等につきましては、副市長より行いますので、よろしくお願いいたします。